

2024年3月26日

HIS研究会

## 2024年2月15日 HIS 研究会 開催報告

開催日時	2024年2月15日(木) 18:00~20:00
テーマ	情報システムとしての人間～認知心理学の立場から～
会場	完全オンライン形式
参加人数	申込数 26名 参加者 22名
講演者	菊池 聡氏(信州大学人文学部教授) 経歴: 1963年埼玉県出身、京都大学大学院教育学研究科博士課程中退。 1994年より信州大学人文学部に赴任。2013年ケンブリッジ大学セントエドモンズコレッジ客員研究員。現在、信州大学人文学部 文化情報論・社会学 教授(認知心理学)、信州大学地域防災減災センター長、放送大学客員教授。

2024年2月15日にオンラインで開催された HIS 研究会では、信州大学人文学部教授の菊池聡氏によるご講演が行われました。

講演では、クリティカルシンキングに焦点を当て、デューイやレフレクションといった概念が取り上げられました。クリティカルシンキングにおいては、メタ認知が重要であることや、認知バイアスや確証バイアスについても詳細な示唆がありました。人間は自らの信念を裏付ける情報を求める傾向があり、それによって否定的情報を避けることが指摘され、錯誤相関や幻相関といった認知の落とし穴があること、エコーチェンバーやフィルターバブルの影響などについて解説がありました。

講演後の質疑応答では参加者から多数の質問が出て、参加者は多角的な視点や理解を得ることができました。

オンライン開催のため会場の写真はありません。

事後アンケートは回答数が1件で有効回答数に達していないため、結果報告は割愛させていただきます。